

ホワイトボードパネル

施工説明

- 本製品は国土交通省認定不燃壁材ではございません。認定が必要な場所へ使用しないでください。
- 施工前に輸送時の破損・傷の確認をお願いいたします。その後の責任は負いかねますのでご注意ください。
- ホワイトボードパネルは環境変化により伸縮する可能性があります。必ず規定のクリアランスを設け、専用副資材を使用してください。
- ホワイトボードパネルは浴室内や水を大量に使用する場所、高温・多湿になる場所、天井面および屋外には使用できません。
- ホワイトボードパネルは保護フィルムのある面が表面です。
- 搬入、および現場内での運搬・施工の際にホワイトボードパネルがたわみ、破損の原因となりますので、2人以上で作業を行ってください。

▲ 安全についてのご注意

下記注意事項は、ケガや事故を事前に防止するためのものですので必ずお守りください。

注意事項

想定される危険性

●指定の専用仮留めテープ・専用接着剤以外は使用しないでください。



剥がれによる
落下の恐れ

- 下地施工は下地材料メーカーが指定する方法を厳守してください。

- 運搬・作業時には滑り止めの手袋を着用するとともに、加工時に粉じん・火花が発生するため、保護マスク・保護メガネを着用してください。防じん丸のこを使用し、換気を良くして作業を行ってください。もし粉じんが皮膚についたり、目・鼻・口に入った場合は、速やかに水で十分洗い流してください。異常を感じたら直ちに医師の手当てを受けてください。



ケガもしくは
健康障害を
生ずる恐れ

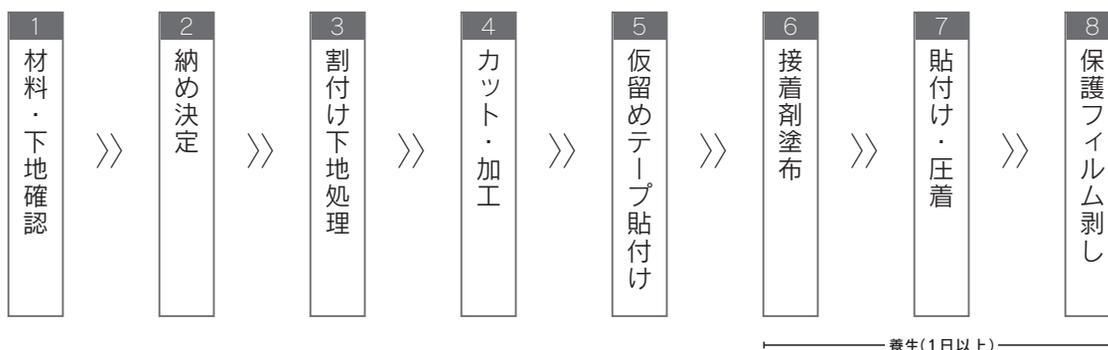
- 重量物のため、落下時のケガにご注意ください。
- カット・加工した端部で手を切る可能性があるため、必ず端部をサンドペーパー・バリはヤスリで面取りしてください。
- 使用する専用接着剤には有機溶剤が含まれています。使用時は十分換気するとともに、火気にご注意ください。



マグネット
落下による
ケガの恐れ

- マグネットの磁力(kg)×保持力(25~35%)が保持できる重さの目安となります。商品サンプルとご使用予定のマグネットで保持力をお確かめください。
- マグネット保持力以上のものを吊ると、マグネットが落ちる可能性があります。確認が必要な場合はサンプルにてお確かめください。
- 保持できる重さの範囲内であっても、ホワイトボードパネル表面が滑りやすくマグネットが落下する可能性がありますので、ご使用前にサンプルにて保持力をお確かめください。

施工の手順



ホワイトボードパネル

商品仕様

品名	サイズ	カラー	梱包入り数	重量	保持力	防火	F★★★★※
ホワイトボード パネル	3×6:3mm厚×910mm×1,820mm	(表面) ホワイト (裏面) シルバー	1枚 / 梱包	7.2kg/枚	25~35%	非防火	規制対象外

※改正建築基準法では、告知対象の17品目に含まれず、規制を受けない商品です。

副資材 / 加工工具

施工に関する道具は下記をお使いください。ハマカケが起こらないように刃物は新しいものをご使用ください。

① 切断加工 防塵マルノコ((株)マキタ:防じんマルノコ)、ノコ刃(山真製鋸(株):板金マスター)

② 穴あけ加工 ドリル、自在ぎり、ホールソー、ジグソー、ファイルソー

③ 仕上げ ヤスリ、サンドペーパー(#120)、サンディングブロック、丸ヤスリ

別売り施工部材	施工数量目安	商品名・メーカー	カラー	サイズ・容量	使用量目安	梱包入数
施工キット※		ボードタック ((株)タイルメント)	—	1mm厚×20mm巾 ×10m巻	1巻→3×6 1.5枚分	1
		MK-720 ((株)タイルメント)	—	333ml/本	1本→3×6 1.2枚分	1
		S-100J防カビタイプ ((株)タイルメント)	ホワイト	333ml/本	—	1

※施工可能枚数目安:3×6板 1枚/1セットが目安です。S-100Jシリコーンは水廻り施工時の見切り材に注入してご使用ください。

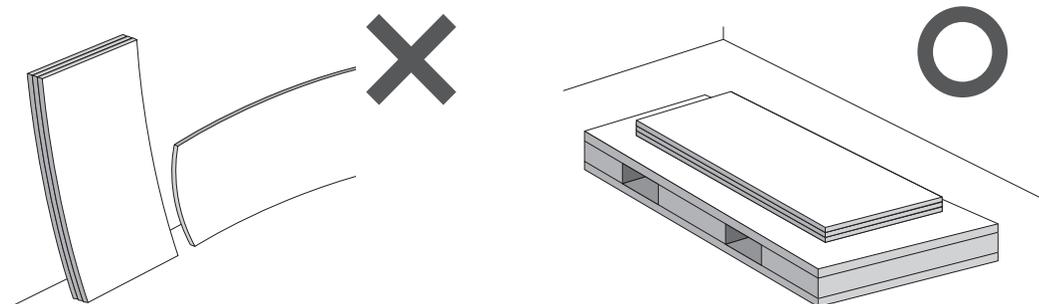
別売り施工部材	商品画像	商品名・メーカー	カラー	サイズ・容量	使用量目安	出荷数量
専用仮留めテープ		ボードタック ((株)タイルメント)	—	1mm厚×20mm巾 ×10m巻	1巻→ 3×6 1.5枚分	1巻
専用接着剤		MK-720 ((株)タイルメント)	—	333ml/本	1本→ 3×6 1.2枚分	1本
抗菌・防カビ シリコーン		S-100J 防カビタイプ ((株)タイルメント)	ホワイト	333ml/本	5mmΦで 1本→12m	1本
シーラー		シーアップ (ヤヨイ化学工業(株))	—	4kg	40~160g/m ² ※下地による(P73参照)	1箱
補助部材 (見切り材)※		アルミ3HA ((株)創建)	アルマイトシルバー(54091)	L=2,730mm	—	1本
		アルミ3CA ((株)創建)	アルマイトシルバー(54091)	L=2,730mm	—	1本
		アルミ3AB ((株)創建)	アルマイトシルバー(54091)	L=2,730mm	—	1本
		アルミ3AD ((株)創建)	アルマイトシルバー(54091)	L=2,730mm	—	1本

※見切り材の色は、ホワイトボードパネルの色とは異なります。推奨品以外の見切り材もご使用いただけます。

(株)タイルメント・ヤヨイ化学工業(株)・(株)創建の商品情報は2024.4.1現在のものにて記載しております。補助部材(見切り材)の寸法詳細はP74をご参照ください。

在庫・保管

- ⚠️ ご注意**
- 在庫・保管は直射日光や雨の当たる場所を避け、風通しの良い屋内に保管してください。
 - 地面への直置きは避け、平らな場所でパレットなどの上に平積みし、シートをかけて保護してください。
立てかけは、反りの原因になりますので絶対におやめください。
 - 運搬の際は、たわみ防止のため2人以上で、曲げたりぶつけないよう注意して運んでください。



施工前の確認

1 下地の確認 **重要**

まずはホワイトボードパネルの施工が可能な下地かどうか確認ください。

下地の種類のチェック

適さない下地について

- ・湿気を帯びた下地・帯びる可能性のある下地
- ・ALC躯体への直貼りはできません。
- ・RC壁面への直貼りはできません。
- ・塗装面・壁紙面・化粧面への直貼りはできません。

施工可能な下地について

- ・石膏ボード (推奨 12.5mm以上)

下記の下地はシーラー(ヤヨイ化学工業(株) シーアップ)を全面に塗布してください。

- ・モルタル面 (含水率4.5%以下・密着強度1.0N/mm²、平滑な金ゴテ仕上、不陸2mm以下)
- ・ケイカル板 (推奨6mm以上・比重0.8以上)
- ・ラワン合板 (推奨9mm以上)

既存下地への施工について

- 塗装面・化粧面…既存下地へは直接貼れませんので、新規下地を設け、施工を行ってください。
 - 壁紙面……………既存の壁紙、裏打紙を全て取り除き、下地調整を行った後、施工を行ってください。
 - タイル面……………タイルの浮きや剥がれが無く、不陸が2mm以下の場合、下地調整を行った後、施工を行ってください。
- ※壁紙面・タイル面において、上記を満たせない場合は新規下地を設け、施工を行ってください。

- ⚠️ ご注意** ●下地材の選定と構造の作成は建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合する様に行ってください。

下地調整

- 下地は乾燥面とし、不陸・目違い・凹凸のないことを確認します。
- 下地表面のゴミ・ホコリ・汚れ・水分等、接着を阻害するものは除去します。
- 下地に動きがある場合は十分に固定します。
- 石膏ボードの切断部分はカッター等で面取りします。
- 下地の不陸がある場合は、パテで調整し平滑な面をつくってください。

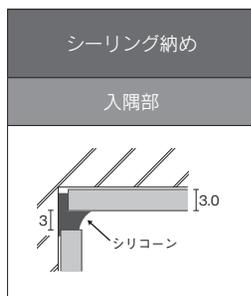
ホワイトボードパネル

施工前の確認

② 納めの確認

推奨 見切り材納め				
出隅部材	端部部材	平目地部材	入隅部材	

- ⚠ ご注意**
- 平目地部材は、ホワイトボードパネルに差し込んでから施工してください。
また、見切り材は裏面に両面テープ及び、接着剤を使用してしっかりと固定してください。
 - 水廻りに施工する場合、必ず見切り材の中にシリコン((株)タイルメント・S-100J防カビタイプ)を注入して施工してください。



- ⚠ ご注意**
- 天井部への施工は、落下の危険性がありますのでご使用にならないください。
 - ホワイトボードパネルは**突き付け施工できませんので、3mm以上の隙間をあけてください。**
高湿度下で不燃ホワイトボードパネルが伸びて突き上げを生じたり、低湿度下で収縮してすき間を生じる場合があります。
 - ホワイトボードパネルはホワイトボードマーカーでの書き消しができる商品のため、**ジョイント部をシーリング納め(シリコン処理)した場合、シーリング表面にマーカーが付着し除去できない恐れがあります。そのため、平目地部分は見切り材にて納めてください。**
見切り材表面に付着した汚れは速やかに取り除いてください。

施工方法

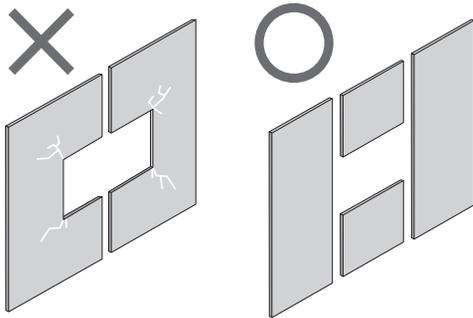
1 割付け・プライマー下地処理

下記の注意事項を遵守して割付け・下地処理を行ってください。

⚠ 割付け時の注意点

- 下地材の目地とホワイトボードパネルの目地が重ならないよう割付けてください。
- ホワイトボードパネルは突き付け施工できません。
P72掲載の見切り材をご使用ください。
シーリング表面にマーカが付着した場合、除去できない場合がありますので、**平目地ジョイント部のシーリング納めはお勧めできません。**
- 開口部の位置及び外観を考慮し、端材が少なくなるよう割付けてください。

切り欠き部がある場合



- 上図のような**切り欠き部**が大きい場合、クラック発生の恐れがあります。
(上図のような場合、切り欠きではなく、複数枚を使用する割付けとしてください。)

■下地がモルタル面・ケイカル板・合板の場合

ホワイトボードパネルを貼付ける部分の全面にあらかじめシーラー（ヤヨイ化学工業（株）：シーアップ）を塗布してください。

■標準塗布量：40～160g/m²（シーアップ4kg施工可能面積目安 モルタル面 160m²、ケイカル板 40m²、合板 40m²）

- モルタル面→シーアップを4倍の水で希釈し全面塗布
- ケイカル板→シーアップを同量の水で希釈し2～3回全面塗布
- 合板→シーアップを同量の水で希釈し全面塗布

- ⚠ **ご注意** ●シーラー（ヤヨイ化学工業（株）：シーアップ）塗布後、完全に乾燥させてください。
●シーアップはトルエン、キシレンを含んでおりませんが、ご使用の際には十分に換気を行ってください。

ホワイトボードパネル

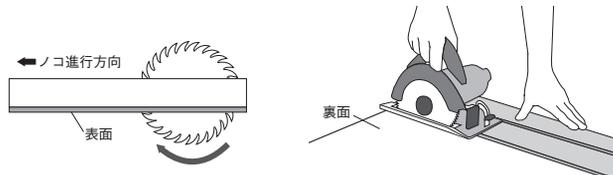
施工方法

2 カット・加工

下記の注意事項を遵守し、カット・穴あけ・切り欠きを行ってください。

⚠ カットする時の注意点

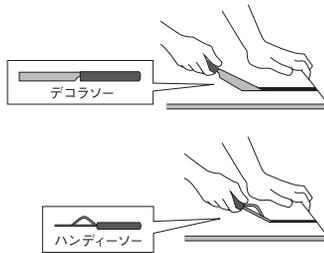
- サンダーを使用しないでください。火の粉が化粧表面に飛散すると、とれなくなります。
- 切断作業は屋外で行ってください。やむを得ず屋内で切断する場合は、防塵マルノコ(マキタ(株)・防じんマルノコ)をご使用ください。
- 刃物の状態が切断性、カット面の仕上がりに影響しますので、新しい刃をお使いください。
- 切断は硬質断熱材などの上に置き、当木を用いて、必ず刃物を裏面から入れてください。表面から刃物を入れると、表面の塗装面が剥がれる恐れがありますのでお避けください。
(表面には保護フィルムが貼ってあります。剥さずにカットしてください。)



■切断加工

手鋸切断

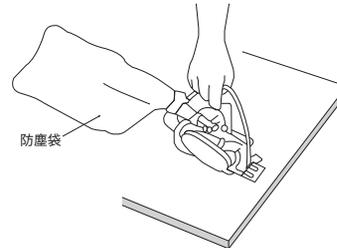
手鋸(デコラソー・ハンディソー)を使用の際は、切りしまいで欠けを起こさないようにご注意ください。



電動鋸切断

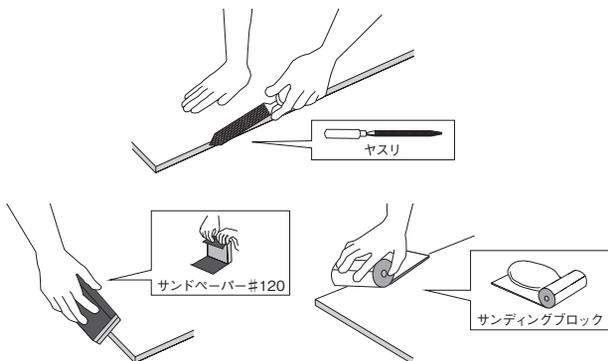
電動鋸を使用する時は、鉄・アルミ用ノコ刃(山真製鋸(株)・板金マスター・オールマイティ)をご使用ください。

※ダイヤモンドチップのノコ刃は適しません。



■面取り加工

切断の仕上げ



穴あけ切断の仕上げ



面取り方法

- 切断面は鋭利なため必ず面取りしてください。
- カット面は目の細かいサンドペーパーを当木にそえて軽く面取りしてください。

水かかりの可能性が高い場所へ施工する場合は、必ず見切り材の中にシリコーン((株)タイルメント・S-100)防カビタイプ)を注入し施工を行ってください。

施工方法

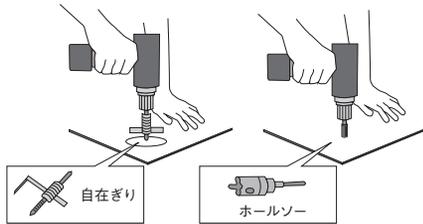
⚠ 穴あけ・切り欠きの注意点

- 穴あけ・切り欠きは6R(φ12)以上の刃物を用いて表面からコーナー部に穴をあけてから行ってください。
- カット後のバリ・カケは、クラックの原因となる場合があります。カット面をサンドペーパーで平滑にしてください。

穴あけ加工

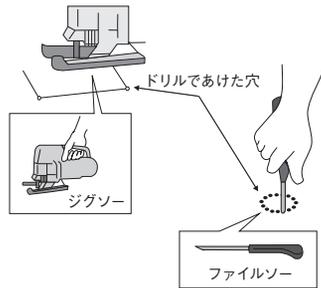
【一般の穴あけ】

直径10mm以下ならドリル、それ以外のものは自在ざりやホールソーをご使用ください。

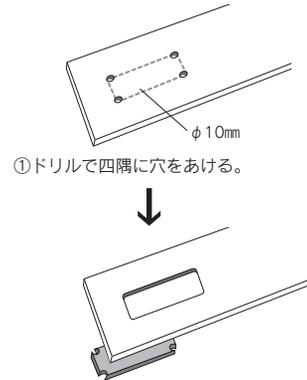


【不定形の穴あけ】

ドリルで小穴をあけた後、ジグソーかファイルソーで穴をあけ、切断をします。



コンセントなどの穴あけ

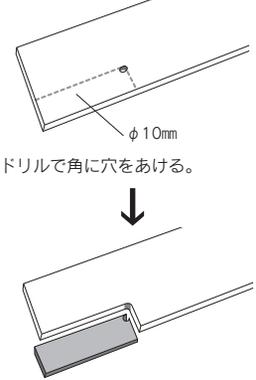


①ドリルで四隅に穴をあける。

②小カッター又はノコでカットする。

③カット面を面取り

切り欠き

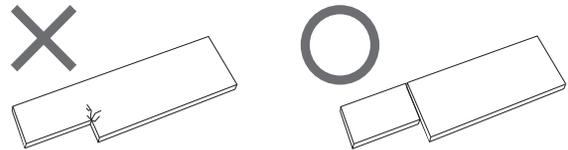


①ドリルで角に穴をあける。

②小カッター又はノコでカットする。

③カット面を面取り

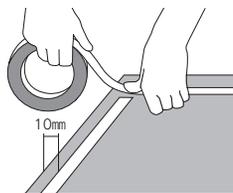
- ⚠ ご注意
- 下図のようにピン角でカットした場合、クラック発生の恐れがあります。
 - 下図のような場合、切り欠きではなく複数枚を使用する割付けとしてください。



③ 仮留めテープ貼付け・接着剤塗布

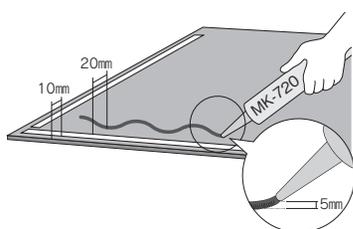
下記の注意事項を遵守し、仮留めテープ貼付け・接着剤塗布を行ってください。

⚠ テープ貼付け時の注意点



- クリアランス10mmをあけて、仮留めテープを貼付けてください。
- 両面テープは強く押えて密着させてください。
- 両面テープ((株)タイルメント・ボードタック)は、1巻(10m)で3×6板 約1.5枚が目安の使用量です。

⚠ 接着剤塗布時の注意点



- 接着剤は高さ5mmで塗布してください。
- 接着剤((株)タイルメント・MK-720)1本(333ml)で、3×6板約1.2枚が目安の使用量です。塗布量が少ない場合、剥がれなどの原因となります。
- 接着剤塗布後10分以内に貼付け圧着してください。

<専用接着剤使用時のご注意>

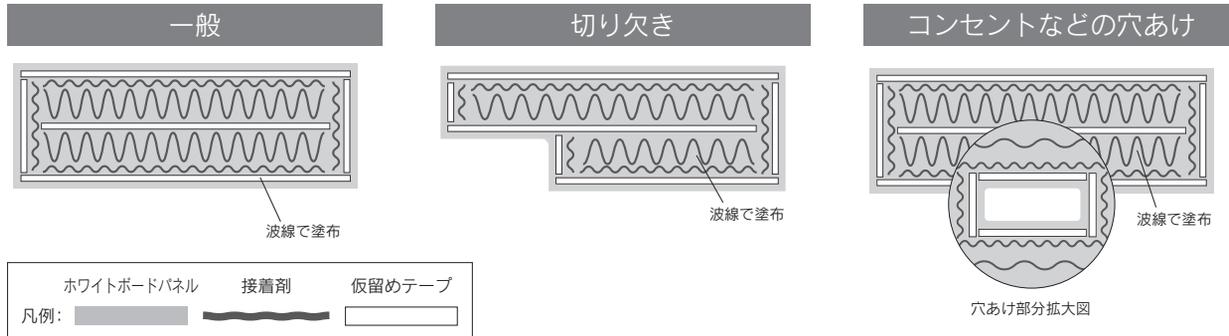
気温が5℃以下の場合には施工できません。

ホワイトボードパネル

施工方法

■標準塗布パターン

●開口部・切り欠き部は、仮留めテープ・接着剤により補強してください。(下地側に仮留めテープ貼付け・接着剤塗布する場合も同様です)



4 貼付け・圧着

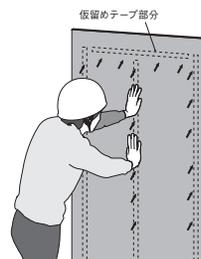
下記の注意事項を遵守し、貼付け・圧着を行ってください。両面テープのはくり紙は確実に取り除いてください。

⚠ 貼付け時の注意点



- ホワイトボードパネルを貼付ける際、中央に浮きが発生しないようご注意ください。
貼付けは2人以上で行ってください。
貼付け時は開口部・切り欠き部に歪みが発生しないようにしてください。
(施工後のクラックの原因になる場合があります)
※仮留めテープが壁面に一度接着すると、調整ができなくなります。

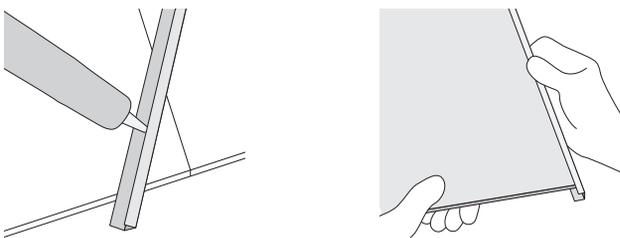
⚠ 圧着時の注意点



- 仮留めテープ部分をしっかりと押さえてください。
※接着剤部分を押さえると泣き別れの恐れがありますのでご注意ください。

5 端部処理 (推奨 見切り材納め)

下記の手順に従って端部処理を行ってください。



- 平目地部材はホワイトボードパネルに差し込んでから施工してください。
- 見切り材は裏面に両面テープ及び、接着剤を使用してしっかりと固定してください。

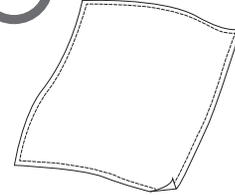
6 保護フィルム剥がし

1日以上養生後、表面の保護フィルムを剥がしてください。

施工方法

■メンテナンス

表面の汚れは柔らかい布にぬるま湯を使用し、やさしく拭き取ってください。
 汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を水で薄めたものをご使用ください。
 マーカー及びイレーザーは当社推奨品(P40掲載)をご使用ください。
 有機溶剤(アルコール、炭化水素、LPG等)を主成分としたホワイトボードクリーナーは
 塗装面を侵してマーカーが消えにくくなる場合がありますので、お避けください。
 ※P40掲載の推奨クリーナーはホワイトボードパネルには不適ですご注意ください。



清潔な柔らかい布



タワシ・漂白剤・クレンザー
 強アルカリ・弱酸性洗剤

ホワイトボードパネル 物性試験結果表

試験項目	試験方法	結果
塗膜厚	重量法換算値による	28 ± 3 μ
鉛筆引っ掻き値	鉛筆引っ掻き試験による	6H
密着性	碁盤目試験による	100/100
耐溶剤性	100回以上	MEK ラビング
耐酸性	5%塩酸浸漬(20℃)	
耐アルカリ性	5%水酸化ナトリウム浸漬(20℃)	塗膜面に膨れ、剥れのない事
消去性	完全に消去する事 ^{※1)}	イレーザーに加重 200g 5往復

1) マーカー: コクヨ製(品名: PM-B102) イレーザー: コクヨ製 重量 30g 幅 50mm×長さ 95mm

項目	複合板標準性能	
比重	1.46 ± 10%	
厚さ (mm)	± 10%	
曲げ応力 (N/mm ²)	184.4	
たわみ (mm)	35.19	
	H	h
落下衝撃 (500g)	高さ 1000mm	0.8
	高さ 1500mm	1.38

※比重は計算上とする。

※曲げ応力 建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法(JIS A 1408)

※たわみ 建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法(JIS A 1408)

※落下衝撃 建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法(JIS A 1421)

上記は参考値であり、保証値ではありません。